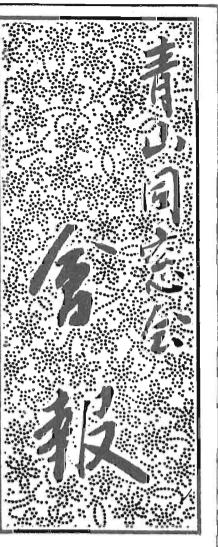




就任挨拶



所窓会行新潟市開屋下川原町二内式印刷
新潟高崎校希原オリ

学校長 小野塚忠義

私は、このたび、丸亀校長の後をうけて、本校の校長に就任致しました。二十三代目の校長であります。

明治二十五年、本校が県下初の

県立尋常中学校として設立されて

より年を経ること七十四、出し

たる卒業生一万五千、中等教育機

関としての歴史は古く、輩出する

俊秀は、政界、商界、実業界、或

いに抱負に期待し、同窓一致の

協力を惜しまないものである。

母校は校舎設備の一部を除き殆

ど復興したものの、尚校庭並に構

内の施設の整備に若干の時間と

経費を必要としている状態である

新校長としては、近づきつゝある

八十周年記念式典への準備と併せ

何か形ある物として、後に続く者

たちに残してほしいということで

拘らず、当方に於ては厳として今

に違いないが最も希望される校

舎の設備は、阿部校長以来の多年

の懸案である音楽教室、生徒ホー

ル、我々としても、今年の新会員の

本号所載の通り、東京青山同窓

小野塚新校長を迎えて

幹事長 斎藤希式

問題の解決を見直して、校門を去

思つ。

このように青陵問題は、それが

らねばならぬわれわれの衷情を、

解消されない限り、先方の意図に

何か形ある物として、後に続く者

たちに残してほしいということで

拘らず、当方に於ては厳として今

に違いないが最も希望される校

舎の設備は、阿部校長以来の多年

の懸案である音楽教室、生徒ホー

ル、我々としても、今年の新会員の

本号所載の通り、東京青山同窓

源川栄一君の追憶



第九回卒業生 青木得三

大正十四年の源川君

昭和四十年一月九日、青山同窓会報第一号を受取った。三遊亭円歌師匠の想い出が写真入りで大きく載っている。源川栄一君のことは小さく出ている。源川君は二十二回、私は九回、その間二十一年も隔つてゐるから、私が追憶記を書くのはおかしいようであるが、源川君は新潟中学の投手、私はマネージャー、同じ新潟中学野球部の出身であるから、少しもおかしいことではない。

昭和三十八年の春、東京青山同窓会が新宿の景雲堂で開かれて、各人が自己紹介をした時、私は卒業回数と姓名をいつただけであつたが源川君は明治神宮野球場長であることをいふと、私が初代東都大学野球連盟会長に就任したことと報告して下さった。それが私が源川君の声を聞いた最初である。私は遠く席を隔てて源川君によろしく願ひますといつた。

昭和三十八年の春の学生野球シーズンが始まる間もなく産経新聞社長水野成夫君（一高の私の後輩）が神宮球場を大規模に改修して、当時の国鉄スワローズにフランチャイズする計画を発表した。

源川君等神宮球場側がこれに賛成していたのはいまだもない。

私は東都大学野球連盟会長として熟考の末、その計画に賛成する決心した。しかし源川君等の計画を達成することは容易な事ではなかつた。何となれば先ず衆議院の体育特別委員会が、これに反対して、或は実地見聞をし

めた。八月二十九日午後、明治記念館で運営委員会が開かれた。

土肥、片桐両氏等から反対の討論があつた後、私は第二球場改造の問題を當日は議決しないことを正式に提案した。委員の元文部省宗

教局長下村寿一君（一高の同輩）

が最も私の提案に反対した。

帝露寺受長氏に対し表决を要求し、直ちに私は改築問題それ自

の表决を要した。これより先

張した。委員長は私の提案を容れ

て、賛成者の挙手を求めた。少数

における役員の地位を湯仰して、

神宮の計画に反対するものが多くなつた。それで或日の朝日新聞に

東都大学野球連盟が反対であると

いう記事がのつた。するとその晩

源川君は突然私の宅をたずねてき

た。それが後に先にも、源川君

が私の宅をたずねた唯一度の事で

ある。源川君は神宮の幹部に対し

て、青木さんが反対する筈はない

といったそ�で、どうか反対もせ

ず、賛成もせず静観してほしいと

いった。

私はいかにして源川君の希望を

達成すべきかについて、苦心焦慮

した。そして終戦時阿南陸相が

陸下の御意志に反し、最後まで終

戦に反対し翌日自殺した事を思い

出した。私の見る所では、阿南陸

相は終戦に反対ではなくたが、

立つて來て、まだ議案があるから

